

375

此ノ書ハ宗教ノ證跡
ナキヲ討テ人間普通
ノ理ニヨリテ身ヲ護
ルルハ釋迦孔子基利
私篤等ニ勝ル一ノ一
分ヲ説キ明カスモノ
ナリ

慮護身大意

明治十九年三月八日

慮護身

大意

大野氏殷著述

中庸

目錄

且此ノ書ハ慮護身ノ一分ヲ記スルノミニシテ不日卷末
リ全部上墨スル物ナリ。

慮護身

釋迦ヤ孔子ヤ基利私篤ノ教ニ少シモ抱ラズ猶

抱

ニモ抱ラズ歐洲諸士ノ主張スル實理主義ニモ

抱

生理ト博物學ト四十余年ノ經檢ト由リ爰ニ

始

ル萬代不易ノ修身學ニシテ其ノ大略ハ已カ身

天地萬物

何ヨリモ尊キ物ト心得テ永ク久ク安カラシム

先ツ名ヲ穢シ身ヲ損シ心ヲ苦メザル様ニ爲ヨト

教ニシテ眞ニ三字ノ字ノ儘ノミ也凡テ宇宙間有機物皆ナ

慮護身ノ性ナキハ無キヨリ寒暑乾濕飢苦死等ヲ逃ケ飽食

性ナキハ無キヨリ寒暑乾濕飢苦死等ヲ逃ケ飽食

安樂長生ヲ求メ殆ド亡族スル物ナク誰モ競テ棲息スルハ
皆ナ此ノ性ノ在ルニ由ル也然レ他ノ動物ヤ植物ハ凡ソ食
スルノミニシテ足ル如クナレバ精神モ又タ單純ニシテ何
タル學料ハ非レ人ニ接近スル動物即チ馬猿犬猫鳥等チ
其ノ飼主ノ慮護身ノ一部分トシテ藝ヲ教ヘ上等品トセン
トスルハ殆ド親ノ進マザル子ニ學藝ヲ教ルニ似レリ人間
ハ之ニ異ル處アリテ末ノ末マデ考ルユヘ君臣父子夫婦等
ノ別習字營業分業諸器械法律等ノ事起リ名心身ヲモ區別
シテ論スルニ至レバ慮護身ノ道又タ從テ複雜ニ至リ其ノ
慮ルコト誰ニテモ慮ラザル無シト云フモ短慮護身ノ人多ク
シテ自己ノ志操ノ八街ニ迷ヒ全慮護身ノ人ナケレバ爰ニ
慮護身一編ヲ説キ以テ教ヘト爲ス物ナリ

慮護身ハ人道ノ規矩ナリ教ヘノ由テ出ル處ナリ人ノ言行
百般ナル人ノ營業百般ナル學術枝藝ノ百般ナル世界ノ宗
教百般ナル皆ナ慮護身ノ意ニ出テザルハナシ唯長短ト慮
實トアルノミ此ノ故ニ國家ノ組織モ悉ク皆ナ慮護身ニ非
ルハ無キヨリ人慮護身ニ明ナレバ即聖ヌリ上人タリ
慮護身ハ得在テ損ナク學テ學バレザル者ナク履テ行ハレ
ザル處ナク都家ト田舎ニ適セザルナク老ト少トニ適セザ
ルナク百工技術ヲ佐ケザルナク君臣父子夫婦兄弟親戚長
幼朋友及ヒ社會交際等ノ道備リ衛生ヲ保チ家ヲ富マシ國
ヲ富マシテ強フスルノ道又タ備リ一戸内一人學ブモ一分
ヲ聞クモ夫丈ニ効アル處ノ教ニシテ僅全部ヲ知ルハ人
民各其ノ處ヲ得直ニ心口寬量ナリ營業上ニ獎勵ヲ發シ恐

ルベキモノ無クナリ動物自然ノ道理ナル故ニ經久スルモ
 變ルナク君民一致ニ至ルベキ教ニシテ既ニ邪說ノ充塞
 スル世ニ非レバ年ヲ經ズシテ海内ニ敷キ其ノ奏効ヲ見テ
 ルベキニ憐ムベシ奇妙不思議ノ飽充スル腦ハ直チニ交換
 シ易カラザル物ナリ
 慮護身ハ人道ノ母ナリト云テ然ラシ即チ人道ハ皆ナ慮護
 身ヨリ産ル、物ニシテ人ノ言行悉ク皆慮護身ニ非ルハ無
 ク凡テ慮護身ヨリ生レザル物己ニ世ニ無キ處ナレバ善惡
 邪正悉ク皆ナ慮護身ニシテ何レカ人道ナラザルハ無シ然
 レレ之ヲ完全慮護身ト不全慮護身トニ區別スレバ甲ハ即
 チ善道ニシテ乙ハ即チ惡道ナリ茲ノ故ニ人皆ナ完全慮護
 身ナレバ皆ナ聖人タリ上人タリト云トモ不全慮護身ナレ

ハ皆ナ惡人タリ下人タリ之ヲ通シテ人道ニ非ズト云ナリ
 眞ノ破護身ナル物ハ曾テ世ニ無キ處ナレレ最モ拙キ慮護
 身ヲ今破護身ト號ケ完全慮護身ヲ單ニ慮護身トノミ云
 フトハ其ノ慮護身ヨリ生ル、ハ皆ナ人道ニシテ其ノ破護
 身ヨリ生ル、ハ皆ナ邪道ナリト知ルベシ而シテ日常吾レ
 ニ射シ來タル萬機ノ良否ヲ一々ニ鑒別セントスルニ先ツ
 慮護身ノ三字ヲバ常ニ忘ズ腦中ニ置キ之ニ照會スルハ
 適スル物皆ナ善ニシテ適セザル物皆ナ惡ナルヲ容易ク知
 ラル、處ナリ
 慮護身ハ人道良否ノ節也ト云テ然ラン古來儒佛神皆ナ夫
 々ニ人道ヲ説キ教ユレ共世ニ一定セル人道ナク何レモ一
 得一失ニシテ其ノ一教ノ中ニモ又タ能キ事ト惡キ事ト在

テ何レモ暗ニ遵守スル克ハザレ物ナリ慮護身ハ其ノ一々
 ノ良否チバ容易ク鑒別スルニ足ル其ノ狀宛モ無數ナル
 大小不等ノ河原砂ヲ飾ニ懸テ用ヒラル、物ト否ラザル物
 トニ區別スルニ似レリ今試ニ或ル宗ノ五戒ト爲テ傳ル殺
 生偷盜妄語邪淫飲酒ノ五ツ、ノ物ヲ一々碎テ飾ニ掛ケ善
 ナル物ハ止ルトスルニ先ツ殺生ニテ人類ハ元來生チ殺ス
 得テ好マザル物ナレト止ム克ハザル事狀アレバ八分九
 分マテ通りヌケ盜ハ元來惡性ニシテ九分九厘マデ止レト
 止ムベカラザル場ニ於テ意ナラズモ爲ス一ハ其ノ後ノ振
 舞ニテ通りヌケ邪淫ハ本來効ナクシテ害ノミ殘ル物ナレ
 バ悉ク皆ナ止ルベケレト時ニ由テハ一小部通過セシメテ
 長慮護身ナルトアリ妄語ハ八分止マレト其ノ他二分丈ケ

通りヌケ飲酒ハ元來良性ニシテ殆ト十分通過スレト飲テ
 資産ヲ害フ者身ヲ害フ者一時ノ酒ニ發狂スル者丈ケ通過
 セザル物ナリ然レ是等ハ酒ノ固有セル惡性ノミニハ非ズ
 シテ他ノ物好ニモ在ル處ナリ尙ホ委クハ次ニ出セリ又々
 或宗ノ十戒ヲ飾テ糾明セントスルニ算ベキ物アラザレバ
 畧ス如此ク慮護身ヲ以テ飾フトハ古來ノ教ハノ善惡ヲ容
 易ク鑒別セラル、物ニテ修身上ニ貴ブベキ器具又々規矩
 ト云フベシ
 物体ニハ度量衡アリテ長短輕重多少ヲ知リ用ニ適否ヲ辨
 別シ國ニハ法律アリテ惡人ヲ罰シ人ニハ慮護身ノ規矩ア
 リテ善ト惡トヲ辨ズベキ物ニテ之ヲ國家ノ三則ト云フ其
 ノ狀宛モ鼎足ノ如ク一ツモ缺ク一克ハザル物ナリ然ルニ

慮護身ノ學未ダ世ニ無キ處ニシテ古人モ一分ハ教レ臣人
 安シテ履ム克ハザル道ニテ未ダ全キ修身學世ニ在ルヲ聞
 カズ既ニ今日開明ニ浴スル人ハ苟クモ死シテ跡ナク消ル
 一知ルベケレ其ノ餘ノ宗旨ハ悉ク死シテモ命ノ在ル如
 ク又タ身体モ在ル如ク或ハ地獄極樂へ行クトシ或ハ天國
 地獄へ行クトシ或ハ高天ガ原へ行クトシ生前宗旨ノ別ナ
 レバ死シテノ先モ別々ニ成リ親ニモ子ニモ逢レザル一宛
 モ當今人民ノ親ハ北海道へ移住シ子ハ布哇國へ移住スル
 姿カナド、思ヒ居ルハ愚ナルニ非スヤ今無宗教ノ人何地
 ニカ行カン又タ動物植物何地ニカ行カン如此ク人道一致ナ
 ラザレバ生前氣質品行モ自然一ツナル克サル一知レリ之
 ノ君民ノ一ツナラザル基ニシテ國安カラザル第一ノ基礎

殺生

タリ予甚タ之ヲ痛ム
 慮護身ハ活ルヲ殺サバ一克ハズ然ルニ古來殺生ハ爲ス
 ベカラズト云戒アルハ何ゾ世人ニハ儘動物ヲ殺ス一チ忌
 ミ又タ喰フ一チ忌ム人アレハ植物ニ於テハ殺ス一チ忌ミ
 又タ喰フ一チ忌ム人ヲ見ズ植物何ゾ生物ニアラスヤ其ノ
 植物ハ喰フテモ動物丈ケハ喰ハズト云ハ何ニ由テカ之ヲ
 分タン夫レ動物ト植物トハ何等ノ區別ニ由ル物カ動物ニ
 テモ下等ナル貝ノ如キハ捕ントスルモ逃ゲ走ル一チク殺
 シテモ又タ憐ム姿ヲ見ル一チク血ヲ流ス一チ見ル一チモナ
 ク殊ニ蜥類ハ始メヨリ木石ニ附着シ發育シテ生涯一歩モ
 步行一無ク又タ蝟ハ動物ニテモ感覺ナキカ自カラ自己ノ

足ナ喰ニ眠草ナル植物ハ植物ニテモ感覺アルカ觸レバ直
チニ葉ヲ稠メ其ノ他合歡木ノ葉蒲公英ノ花蓮ノ花ノ如キ
ハ毎朝ニ開キ夜々稠ミ宛モ人ノ夜ハ休ミ明テ營業スルニ
似レリ又タ植物ニテ二三種ハ動物ヲ捕ヘテ食餌トスルア
リ或ハ其ノ種子ノ風ニ乘リ或ハ水面ニ浮キ或ハ奔走動物
ノ身ニ附着シテ地ヲ換ルアリ鳥ニ翼アリ魚ニ鰭アリ蒲公
英ノ種子ニハ羽毛アリトスレバ何ソ動物植物ト異ル處ア
ラシ共ニ生存發育シ死ヲ嫌フモ又タ何ソ異ル處アラシ抑
々人ノ植物ヤ他ノ動物ニ長タルト云ハ何ニ由テカ分テリ
ト云ニ單ニ自由ヲ足スニ由ルノミナリ然ルチ諸他ノ動植
物ニハ斯カ在ル妨スル者ナキニ特リ人間ニノミ肉食ヲ忌ム
日アリ生涯單身ニテ暮ス人アリ貴重ノ月日ヲ費シテ讀經

敬拜スル人アリ七日ニ一日營業ヲ休ム人アリ以上ノ如キ
ヲ務メザレバ如此キ人罰スル也ト云偶像モ在テ該信者ニ
ハ知ラザルベクモ巨大ノ自由ヲ妨ラルハ何ツヤ強テ高
等動物ヲ下等ニセントスルニ似レリ然トモ其ノ戒ヲ確守
シテ肉食殺生セザル者ト其ノ戒メヲ知ラズ守ズシテ肉食
殺生スル者ト何ソ異ル結果アリヤ又タ猛獸ヤ殺生鳥魚ノ
如ク飽マテ肉食スル物ト蔬食獸類不殺生鳥魚類ト比較シ
テ何ソ異ル結果アリヤ世界ノ博物學諸士之ヲ尋テ其ノ各
物ノ身体ノ造構ニ就キ檢スルニ肉食獸ト蔬食獸トハ齒ノ
造構ト腭骨ノ運動トニ於テ大ヒニ異ル處アリテ人類ハ其
ノ中間ニ在ルヲ知レリ依テ人類ハ動物若クハ植物ノ片
方ノミチ食セシムルモ可ナリニ生活セラルベケレト猫虎

狼狐等ニ肉類ヲ禁シテ植物ノミヲ與ヒ牛馬等ニ植物ヲ禁
 シ肉類ノミヲ與ナバ共ニ不日ニシテ死シカ凡テ人間モ肉
 食スルヲ多クシテバ身体發育健ニシテ精神及ヒ四肢運動ノ
 活潑ナルヲ虎狼ノ如ク蔬食多クシテバ從テ身體發育健ナラ
 スシテ腹膨レ精神及ヒ四肢運動トモ遲鈍緩慢ナルヲ宛モ
 牛馬ノ如ク知ラレリ依テ肉類食料ハ人ノ衛生上最要ナル
 一知レリ
 凡ソ地球上活物ハ其ノ數多クシテ上ミ人類ヨリ下モ肉眼
 ニ見エザル下等ノ小植物マテ概シテ食物トスル物品ヲ考
 ルニ皆ナ悉ク有機物ニシテ無機物中ニテ食用トスル物ハ
 唯水ト大氣トノ二ノミ其ノ他ニ人類ハ好テ少許食鹽ヲ採
 ル既ニシテ大動物ハ小動物ヲ喰ヒ小動物ハ大動物ニ寄生

シ或ハ死セルヲ喰フ一甚ダ複雑ニシテ算フ克ハザレモ其
 ノ獸類ノ獸類ヲ喰ヒ魚類ノ魚類ヲ喰フ如キ台灣人種及ヒ
 澳大利亞ノ北方ナルバリア島人種ノ人ヲ喰フ如キ朋喰ス
 ル一家畜野獸ニ抱ラズ鳥類魚類虫類同シク又々鳥獸ノ虫
 魚ヲ喰ヒ虫魚ノ死セル鳥獸ヲ喰ヒ虫類ハ又々草木ニ寄生
 シ草木ハ又々死セル動物ヲ喰ヒ或ハ小草木大木ニ寄生シ
 生活スル等萬般種々ニテ算フ克ハザレモ凡ソ肉食セザル
 物即チ牛馬ノ如キ物ハ動物界中少ナキヲ知ラレリ又々植
 物モ食料ハ地球表面ニアル有機物ノ死シテ腐敗シ未ダ單
 純ノ無機物ニマテ分解セズシテ地ノ表面ニ混在スル物即
 チ埃土中ヨリ水ニ溶タル有機物ヲ吸収シ生活スル物ニテ
 之ヲ證セン爲メ地ノ表面ヲ削リ去リ而シテ跡ノ赤土ヤ粘

土ニ種時キ或ハ殖ルモ發育アシク之ニ反シテ動物ヤ植物
 等ノ腐敗セル物即チ肥シテ與レバ其ノ繁殖力俄ニ増スハ
 既ニ吾人ノ知ル處ナリ又々村落ハ山野ニ比スレバ草木ノ
 繁殖宜ク凡テ有機物ノ死セル物殊ニ水分アル物チ稍々貯
 レバ他ノ動物ヤ植物チ能ク化生スル物ニシテ既ニ肉類貯
 レバ虫トナリ米麥貯レバ又々虫トナリ團子ノ如キ貯レバ
 小植物即チ蘗菌トナレハ有機性分少シモ無キ物即チ清水
 食鹽硫黃硝子炭等チ仮令百年貯ルモ動植物トモ生ゼザル
 ニ知レリ茲ノ故ニ人ノ殺生肉食スルト各々我が意ニ從テ
 爲スモ爲ザルモ害ナキヲ知レリ然レモ人ノ精神ハ自己ノ
 疾苦ヤ醜体チ嫌フハ無論他人他物ノ疾苦ヲモ醜体チモ又
 タ見聞クトチ好マザル物ナレバ吾レ時トシテ勇メリトテ

殺シテ益ナキ動物チ猥ニ苦メ或ハ殺シ猥ニ植物蕪倒ス等
 ノ如キ輕舉暴動スルキハ人其ノ人ノ憐ノ薄ト疾苦チ見ル
 ニ忍ブトノ強トチ知リ一トツニハ恐レ一トツニハ賤シメ
 遠ラレ自己ノ護身チ全スル克ハザルユヘ益ナキ殺生セザ
 ルトハ素ヨリ好スル處ナリ

盜

慮護身ハ盜ム克ハザルト道理ニ照シテ明ニ知レリ盜ハ古
 人モ今人モ固ク戒ル處ニシテ改テ爰ニ云フニハ及バザレ
 氏古來ノ教ハ其ノ理由チ云ハズ唯盜トハ人道ニ非ズ人ノ
 財チ盜ム者ハ面貌人ニ類似スレモ心畜生ナリトカ或ハ物
 チ盜ムキハ之ニ對スル罰アリテ仮令バ今世士一荷盜メバ
 未來ニ數千荷チ償フモ尙尽スシテ永久土チ摠チバ成ラヌ

トカ杯云フ如キ宛事モ無キ鬼往昔ノミニテ盗ハ本來何性
 カ良性ナルカ悪性カ如何ノ理由ニ由ル物ナルチ古今紀セ
 シ物ナキヨリ爰ニハ盗ノ本性ト共ノ盗マレザル理由トチ
 説キ吾ガ慮護身ヲ厚セントスル人々ハ頼レテモ尙盗ム克
 ハザルコトヲ記スル物ナリ
 盗ハ元來何者ノ爲ス處ナラント云フニ既ニ天地ノ間萬物
 ハ皆ナ現存爭鬪シテ生活スル物ニテ何レノ人モ不足心無
 キ克ハザルヨリ一時ノ過失ニ起ル所ニシテ敢テ別人ノ爲
 ス物ニ非ス
 盗ハ自己ノ短慮護心ニ溺レ人ニモ慮護心アル事ヲ忘ル
 モノナリ
 人ノ不足心甚ダ多クシテ營業ハ利得之レニ及ハザル者短

慮護心ニ考ルルハ盗ハ利方ノヤウ思ハルベケレト長慮護
 身ニ考ルルハ第一露顯ノ恐在テ何レノ時カ顯ルハマデハ
 長ク隠スノ憂アリ之ヲ充分隠サントスルニハ萬端常ニ心
 掛ケ家族ニモ能ク教ヘズンバ非ズ又タ大金ヲ盗ントスル
 ニハ數回ノ危險ヲ凌ガズンバ非ズ如何トナレバ何事モ經
 檢ナクシテ突然ニ大利ヲ得ルノ難ケレバ也予ガ產地古來
 大工職賃銀ハ其ノ手間八日ニシテ金壹分ナリシガ諺ニ或
 ル作盗人大工ニ語ルニ予ガ營業ハ大工ヨリ難シト即チ大
 工ハ多數ナル刃物ヲ扱ヒ手ヲ切り足ヲ切ル恐アレト予ハ
 人々ニ多數ノ刃物ヲ扱ハレ手足トモ無ク切ラル、恐レ在
 テ且ツ八日ニテ金壹分ナル平均ノ盗ミハ中々難キ物ナリ
 ト此ノ言ヤ理ナリ

一族ノ舉行ハ善惡トモ親疎ニ從ヒ幾分ノ影響アルヲ免レ
 今吾ノ盜シテ長キ月日ニ顯ルハトスルニ自己一分ノ破
 護身ノミニ在ラテ親戚縁類朋友皆十親疎ニ從ヒ幾分ノ慮
 護身ノ障礙ヲ負ハスル物ナリ盜賊ノ罪大ナルヲ知ラレリ又
 一族ニ一人惡業スル者アリテ其ノ幾分ノ影響ヲ受ルト
 スレバ其ノ影響ハ悉ク皆十慮護身ノ障礙ナレバ平素潔白
 ナラシメシヲ希望ス然ルニ時在テ惡人改心スト聞クヤ
 其ノ言未ダ定ラザルモ自己幾分カ快キヨリ終ニ圖ラズ信
 スルニ至ル彼ノ老父母ヲ其ノ子ノ欺キ易シト云ハ之ニヨ
 ル也
 人慮テ盜ム勿レ假令ハ法律ノ問ハザル些細ノ物タリ度
 重ナリテ人知ルルキハ直ニ其ノ否ヲ答ル者却テ少ナク竊ニ

鎖シテ遠シヲ望ム爰ニ至テ悔改ムルモ人其ノ改シテ信
 ズルヲ甚ダ徐々ニシテ生涯全ク雪グヲ能ハズ其ノ改シテ
 人信スルヲ徐々ナルハ理ナリ即チ他人ハ一人ニ閉鎖シ置
 クモ害少ナクレ許テ其ノ事實ナラザレハ自己ノ護身ヲ
 害ニヨル盜ハ短慮貧困ノ過テ為ス處ニシテ即チ貧ノ為ス
 處ナレバ其ノ盜ムヲ小ニシテ且ツ罕ナレバ功ナク頻々ナ
 レバ精神ノ求ル處他人ノ求メト異ルヲ其ノ言行ノ端緒ニ
 知ラレ其ノ盜ムヲ大ナレバ富速ニシテ精神及ヒ衣食住諸
 他關係ノ自然ノ富ニ居住スル人ト異ナリ多キヨリ知ラル
 之ヲ全ク包裡セントスルニハ日夜止ナキ苦辛ニシテ之
 ニ堪ント欲ルヨリ寧原基ノ貧賤ニ苦ムヲ可トセザラヤ
 大ヒニ盜ミ永年ニ顯ザルト思量スル人ハ思慮ノ最モ短キ

犬や猫ニモ劣ルト云ベシ

偽

慮護身ハ狼ニ偽ル克ハザルヲ知レリ偽ハ本來如何ナル物ト云フニ實ノ有ルベキ言語ニシテ而シテ實ヲ從ハセザル物之也凡言語ハ人間ノ何タル用ニ足ス物ナルト云ニ單ニ自由ヲ擴張スル爲メナリ然ルチ言行一ツナラズシテ行ノ力言ノ力ニ適セザルキハ一度ニシテ人疑ヲ抱キ再ニシテ信ヲ失シ却テ自由ヲ狭クスル物ナリ
古人偽ルベカラズト云ヘリ然ドモ偽ラズンバナラザルトアリ即チ凶徒ノ脅迫ヲ逃ルキ兒童ヲ守ルキ人短慮護身ヲ勸ルキ人ノ惡キヲ諫ルニ漸チ以テスルキ醫師ノ必死ト見

傲タル患者ニ豫后ヲ尋ラレハ等ナリ以上何レモ自他共ニ長慮護身ノ爲メ偽ルハ効アリテ害アラザレハ短慮護身ノ爲メ偽ルハ功少ナクシテ且ツ短ク之ニ反シテ害多ク且ツ永ケレバ偽ラザルチ得ザル場ニ臨ミ止ムチ得ズシテ偽ル片モ殊更注意シ長慮護身ヲ求ムベキモノナリ
正直ハ後日ノ言語ニ意ヲ用ヒザルモ寢言醉興雜談ニ意ヲ用ヒザルモ既往ノ言語ヲ忘ルハモ家族ノ言行戒ザルモ千年ヲ經ルモ言行ニ齟齬ヲ生ズルヲ無キ物ナリ此ノ人ヤ一時疑ハルハ在ルモ疑フ人ノ誤認ナレハ誤認ノ志操ハ弱ガユヘニ不日氷解スル物ナリ
偽ノ短慮護身ナル物顯ルレハ非常ニ自己ノ慮護身ヲ害フ人慮テ偽ル勿レ仮令バ筭フベカラザル小事タリ且日ニ一

度ツゞ偽テ年ニ三百六十度スルキハ人知テ信セズ人ノ物
言フヤ人悉ク信セザルキハ言フテ何ニカセシ此ノ人ハ自
ラ自由ヲ狭クスル者ニテ甚キニ至テハ鳴禽聾啞ニ劣ルト
モ云ラズシ

飲酒

慮護身ハ飽マデ飲テ發狂シ資産ヲ減シ身体ヲ害フ様ノ
素ヨリ爲ザル所ナリ古人酒飲マカラズト云ヘルハ半最ナ
レ世ノ人好テ捨ザルハ宜キ所アルニ由ル也抑酒ハ米麥葡
萄其ノ他何物ヨリ製スルヲ問ハズ其ノ主性分即チ亞爾固
保兒チ含ム物ニシテ普通ノ酒ノ効用ハ單ニ主性分ノミニ
ヨル也之ヲ適度ニ飲用スレバ其ノ効能ハ第一血液巡還チ

克クシ神經系ノ過敏ナルヲ靜メ精神ヲ陽發セシメ食機ヲ
増シ判斷力ヲ高メ人ト親睦ヲ厚シ眠ラザルヲ寢セ力役ノ
勞チ一夜ニ恢復セシムル等以上ノ他ニモ効能アルニ付醫
ハ夙ニ用テ疾ヲ治セシ物ナリ世人モ酒ノ効アルヲ知リ
他ニ異狀ナクシテ食機振ザルキ勞働セルキ一時ノ難苦ヲ
薄クセントスルキ大事ノ前ニテ精神系過敏トナルキ眠ラ
レザルキ等自己ニ吾ガ身ノ療養トシテ飲用スル物ニテ決
シテ無益ニ美味ノミニ溺レ飲用スルニ非レバ之ヲ禁シテ
効ナキハ理ナリ既ニ毎夕飲人ハ少ナカラザレハ酒嫌也ト
テ毎夕餅ヲ喰フ者ノ無キハ餅ニ其ノ効ナキノ證ナリ然レ
凡テノ飲食ハ毎回新ナル物ニテ驕ルニ易ク且ツ馴易キ物
ナレバ昨日ノ酒ハ今夕ノ因トナリ毎日酒量同等ナレバ宛

モ日々分量ノ減ル如ク思ハレ知ラズ知ラズニ多量ヲ要シ
 爲メニ破護身ニ陷ル者ナリ即チ飲酒過度ナルハ第一營
 業ニ倦ミ貴重ノ光陰ヲ其ノ調理時ト飲用時ト愉快時トニ
 費シ朋友皆ナ酒客トナリ身ヲ毀テ家ヲ毀テ永遠ノ貧賤ト
 ナル者儘見ル所ナリ豈不孝不慈家内不睦ノ罪ナシトセ
 ヤ慮護身ニ務テ酒ノ効能ト其ノ斃害トチ知リ稀ニ用ヒテ
 慣習トナラザラシメ其ノ効能ハ爲サシメテ其ノ弊害ハ除
 クベキ物ナリ

慮護身全書目錄

序 履歷 無限繁殖及ヒ現存爭鬪 現今人ノ狀
 態 證據 不思議 ト筮 人相 神佛 誓願

因果

理外ノ理

殺生

魂魄

驕

美食

飲酒

多言

偽

貪

盜

危

怒

寛

憐

敬讓

度

知

信

例證理

古來宗教ノ世ニ徳アリシヤ否

今世ハ古來ヨリ優レル

人事慮護身ニ非ルハ無キ

推理力證據ナケレバ効ナキ

宇宙間万體互人ノ五官ニ觸ル、處ノ物荒増墮植物造構ノ

大畧

精神ハ身体造構ヨリ發起スル

精神 護身

思慮

喜怒

苦樂

哀嬉

愛惡

好嫌

耻 勇

爭

笑泣

知識

辨識

想像

慮護身本篇

受胎 發育 衛生 消食 食品 精神 學事 執業
 君臣父子夫婦等ノ權限及ヒ慮護身
 社會交際ノ權限
 理
 葬儀心得

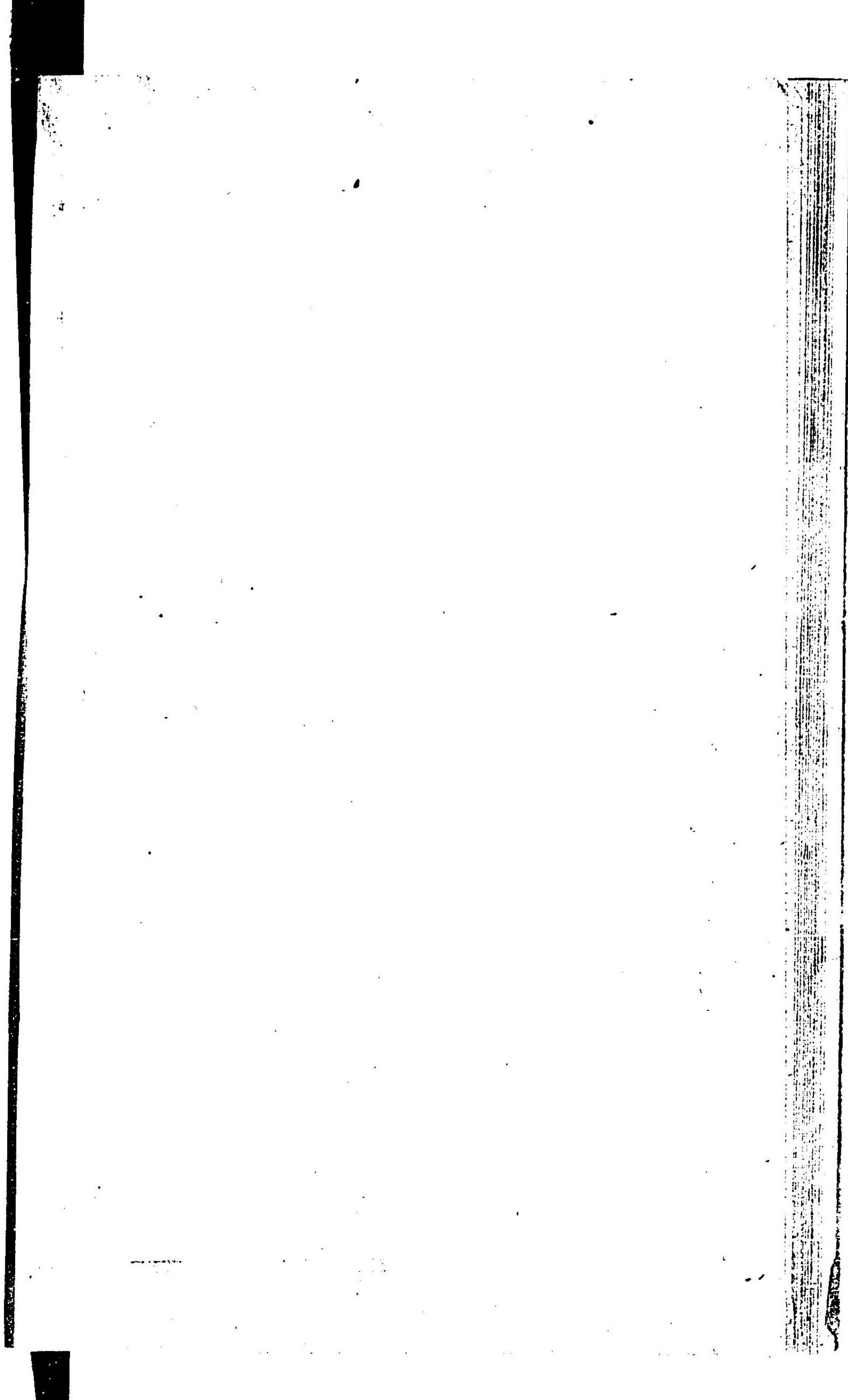
終リ 但シ全書ノ總紙數十行二十字兩仮名付キ三百
 枚前後トシ務メテ野夫少年ニモ解シ易カラシ
 メンヲテ求ム

同 十九年二月二十七日出版 (定價金五錢)

新潟縣士族

著述及出版人 大野氏 殷

寄留所東京神田錦町
一丁目拾九番地



29
3
373

013780-000-9

特17-436

慮護身大意

大野 氏殷/著

M19

ABA-0270

